

平成 28 年度 学校内部評価（全学部集計）

30名提出

<評価基準・方法>

評価は項目ごとに、その達成度を3段階に評価して下さい。また、評価1を選んだ項目があれば、その理由を記入して下さい。

3：そう思う（十分達成できた、十分理解している）

2：ややそう思う（やや達成できた、やや理解している）

1：そう思わない（努力を要する、あまり理解していない）

1 児童生徒の発達段階や障害の程度、特性に応じた指導内容・方法の研究の推進を図る。

観 点		評 価			
		3	2	1	平均
1	授業時数の確保及び基礎的・基本的内容の定着を図ることができた。	11	19	0	2.4
2	「年間指導計画」を作成し、児童生徒の実態に応じた授業の工夫と改善及び教材・教具の創意工夫を図ることができた。	10	21	0	2.3
3	各学部間連携による児童生徒の実態に応じた学習グループ編成を工夫し、教材の開発及び指導体制の充実に向けた検討を行うことができた。	11	18	1	2.3
4	全児童生徒の「個別の教育支援計画」を作成し、活用することができた。	19	12	0	2.6
5	全児童生徒の実態把握に努め、「個別の指導計画」を作成し、活用することができた。	20	10	1	2.6
6	高等部においては本人・保護者の進路希望や学習へのニーズを踏まえ、自立と社会参加に向け「個別の移行支援計画」を作成し、活用することができた。	7	15	1	2.3
7	個別指導及び集団指導の調和を図り、個々を重視したきめ細かな指導の推進に努め、指導の評価と改善に取り組むことができた。	14	15	0	2.5
8	児童生徒の発達段階や実態を踏まえ、小・中・高等部の一貫した教育実践に努めることができた。	6	23	2	2.1
9	日々の授業に創意工夫を凝らし、計画に行うことができた。	16	14	0	2.5
改善点、評価1を選んだ理由等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部会等で情報を共有し連携する機会があるが、小学部とはなかなかそういう機会がないから。(中)</li> <li>・教科の指導における指導内容、目標について各担当同士の確認が必要だと思う。指導計画と授業の実践がかみ合っていない(高)</li> </ul>					

2 教育条件及び教育環境の整備を積極的に推進する。

観 点		評 価			
		3	2	1	平均
1	校外学習等を積極的に進めスクールバスの有効活用を図ることができた。	17	14	0	2.5
2	校内緑化、環境整備を推進するとともに、安心、安全な教育活動が展開できる環境づくりに努めることができた。	21	10	0	2.7
3	図書館教育の充実を図り、掲示教育等の工夫改善を図ることができた。	19	10	2	2.5
4	教材・教具の工夫やコンピュータやiPad等の情報機器を活用し、授業の改善を図ることができた。	20	11	0	2.6

改善点、評価 1 を選んだ理由等

- ・図書に関わるものというより教育的な掲示物が少ない。(高)
- ・もう少し図書館の利用を積極的に行えば、生徒の興味関心も引き出せたかも。(高)

### 3 特別支援学校として、特別支援教育の推進に努める

観 点		評 価			
		3	2	1	平均
1	地域のセンター的機能を果たすため、小・中学校等への支援や研修を推進することができた。	8	22	0	2.3
2	障害の重度・重複化、多様化に応じた指導内容・指導方法の研究を推進することができた。	12	19	0	2.4
3	理論研究及び教育実践の反省・評価に基づいた研究を推進し、専門性の向上を図ることができた。	13	18	0	2.4
4	地域の要望に積極的に応じ、特別支援教育コーディネーターの効果的な活用を図ることができた。	10	19	2	2.3
5	医療的ケアに関する研修を行い、実践に結びつけることができた	14	17	0	2.5
6	給食指導（摂食・嚥下）についての研修を行い、実践力が身についた。	8	22	1	2.2
7	各自、研究課題を設定し、年間を通して自己研鑽に努めることができた。	16	15	0	2.5

改善点、評価 1 を選んだ理由等

- ・重度重複の児童生徒に対する口腔ケアの研修はあったが、摂食に関する研修はなかったので企画してはどうか？(小)

### 4 保健教育、安全教育及び医療的ケアの充実を図る。

観 点		評 価			
		3	2	1	平均
1	保護者や療育医療センターとの連携を密にし、児童生徒の健康教育を推進することができた。	23	8	0	2.7
2	定期的な安全点検を強化し、安全な学習環境づくりに努めることができた。	23	8	0	2.7
3	児童生徒の健康、安全のため緊急時の救急体制を確立し、共通理解を図ることができた。	18	12	0	2.6
4	医療的ケアを必要とする児童生徒への教育環境の充実を図ることができた。	22	9	0	2.7
5	防災避難訓練の実施を通して、共通理解を図り緊急時の体制を整えることができた。	19	12	0	2.6

改善点、評価 1 を選んだ理由等

- ・養護教諭不在の期間も多いため、緊急時シミュレーションは今年度1回しか実施できていない。(小)

5 保護者及び療育医療センターとの連携のもとに充実した教育活動の推進に努める。

観 点		評 価			
		3	2	1	平均
1	医教連絡会や広報活動等を通して、療育医療センターとの共通理解を深めることができた。	18	12	1	2.5
2	授業参観、学校行事、学校便り等やPTA活動を通して保護者との連携を図ることができた	22	9	0	2.7
改善点、評価1を選んだ理由等 ・ <b>医ケア担当ではないため、連絡会や広報活動に参加していない。(中)</b>					

6 地域社会への啓発、理解を図る。

観 点		評 価			
		3	2	1	平均
1	ホームページやリーフレット、マスコミ等を活用して障害児教育の理解啓発を図ることができた。	8	23	0	2.3
2	他校との交流及び共同学習を積極的に推進することができた。	19	12	0	2.6
3	学校説明会を通して北部地域の学校関係者や保護者に十分理解されたか。	11	19	0	2.4
改善点、評価1を選んだ理由等					

7 進路に関する調査及び研究を推進する。

観 点		評 価			
		3	2	1	平均
1	保護者及び事業所、関係機関と連携を密にし、就業体験等を推進することができた。	9	20	1	2.3
2	保護者に対して進路に関する情報等を積極的に提供することができた。	6	23	1	2.2
改善点、評価1を選んだ理由等 ・ <b>進路に関する情報が漠然としているので、今後保護者とも話をしていきたい。(高)</b>					